

令和3年10月13日

国立大学法人浜松医科大学次期学長候補者の決定について

国立大学法人浜松医科大学長選考会議

議長 門 田 守 人

国立大学法人浜松医科大学長選考会議は、今野弘之氏を次期学長候補者として決定しましたので、お知らせします。

記

- 1 氏名 今野弘之（この ひろゆき）
- 2 任期 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- 3 選考の過程と理由

国立大学法人浜松医科大学長選考会議では、令和3年5月17日に「国立大学法人浜松医科大学長の選考基準」及び「国立大学法人浜松医科大学長選考規程」を改正し、これに基づいて、同年6月21日に次期学長候補者の選考を開始することを公表しました。

同年6月25日に公表した選考手続きに従い、学内外への公募と、学内の専任の教授・准教授及び経営協議会学外委員個人による推薦の両面で行ったところ、今野弘之氏の推薦があり、同年9月7日開催の学長選考会議において、推薦書類等を審査の上、同氏を学長候補者に決定しました。

同年10月13日の学長選考会議では、国立大学法人浜松医科大学長選考規程第7条第3項に基づき、候補者に公開ヒアリングを実施し、候補者からのプレゼンテーションと、それを踏まえた選考会議委員等による質疑応答を行いました。

その後、学長選考会議を開催し、意見交換の後、投票を行った結果、同氏を満場一致（得票数10票）で最終候補者として決定しました。

学長選考会議では、同氏が「浜松医科大学長に求められる資質・能力」に照らして、優れたマネジメント能力と強いリーダーシップを発揮し、教育及び研究の推進、人材育成及び医療を中心とした地域貢献について積極的に取り組む者としてふさわしいと判断しました。

令和4年度からの第4期中期目標・中期計画期間において、浜松医科大学の強み・特色を最大限に生かし、教育、研究、診療等を通じて社会の要請に応え、個性と魅力のある大学にするとともに、静岡大学との新法人設立・大学再編を実現することを、同氏に期待します。